

出来ると確信する方法

それでは今日のテーマは、
「出来ると確信する方法」
について話していきます。

「何かを出来る前（達成前）」の段階って、

「本当に可愛い彼女が出来るのか」

「モテるようになるのか」

「ナンパって上手くいくのか」

「半年後に30歳になるんだけど、
恋愛経験もなくて
一生彼女が出来ないんじゃないか」

こういった不安って

誰でもあると思うんですよね。

ジゴロパンダが色んなノウハウを
話したりしてても

「全て嘘じゃないのか？」

「騙してるんじゃないかな？」

と疑ってしまったりして
「出来ないとき」ほど
不安になると思うんですよ。

こういうのはありますか？

カメ「やっば、あります」

こういう不安なタイミングの時に
冷静になって考えてください。

もちろん、ジゴロパンダ自身も

全然大した才能も無い凡人なので
今でも不安になったりします。

新しいものにチャレンジすれば
必ず不安になってくるんです。

そんな時に、僕自身が考えていることで、
あなたにもそうして欲しいんですけど。

「出来てる人がいれば、必ず出来る」

わけですよ。もちろん、

「誰も出来ないこと」を実現は難しいですよ？

例えば、100mを8秒台で走るのは、
普通に難しいじゃん。

カメ「そうですね。」

日本人で9秒台で走れるアスリートも

なかなかいないんだし。

トレーニングとかスポーツの世界では
常識なんですけど、

100メートル走であれば、
9秒台で走ることができる人が出てきたら
パパパって他に9秒台で走れる選手が
急に増えたりとか。

※100メートル走はずっと「10秒の壁」と
いうのがあり、1984年のロサンゼルス五輪で
アメリカ代表のカール・ルイスが100メートル
9.99秒で走る記録を作ってから、9秒台で
走る選手が続出してきました。

「出来ると思えば出来る」

「出来てる人がいれば必ず出来る」

んですよ。

「因果応報」って言ったりもしますし、
「結果があれば、必ず原因がある」わけです。

それは

「上手くいく結果の原因」もあれば、
「上手くいかない結果の原因」もあるんです。

その結果ごとで「結果の出る原因」は違うので、
そのパターンを探すってというのが大事。

例えば、

「可愛い彼女がいる人がいたら、
なんで可愛い彼女が出来るんだろう？」

「ナンパが上手な人がいたら、
なんでナンパが上手なんだろう？」

って考えて、パターンをちゃんと見つけて、

それをただ真似していけば良いわけですよ。

ただし、

**「原因」を見つけたとしても
原因とか理由を埋めれない場合は
難しいですよ。**

例えば、

僕は身長160cmくらいしかないんですけど、
バスケのNBA選手は平均身長が2mあるんですよ。

※2019-20シーズンにおけるNBA選手の平均は、
「身長：199.11cm」 「体重：99.35kg」
バスケなどのフィジカル面が左右するスポーツは
どれだけ肉体的な才能が必要かわかります。

その中で、NBA選手になれるかって言われたら
どれだけ努力しても難しいわけですよね。

日本人でも、NBA選手として八村塁選手とかが出てますけど、少し前であれば

「田臥勇太選手」が身長170cmくらいで、日本じゃダントツでトップというかカリスマみたいな感じだったんですけど。

田臥選手ですらNBAで本契約まではしたけど活躍するところまではいけなかった。

でも、実際にNBA選手でめっちゃ小っちゃい人っているんだよ。身長160cmとかで。

僕昔バスケやってた時に有名だったのは、「アール・ボイキンス」で身長165センチだったかな。

ただ、彼を見てたら身体能力が全然違うんですよ。身長160cmでもダンクとか普通にできるし。

動きもめっちゃ速い。

もちろん、他の体格に恵まれた選手より同等以上に努力したと思うんですけど。



《165cmのアール・ボイキンスと
216cmのシャキール・オニール》

でも、僕がダンクが出来るかっていうと出来ないし、どれだけ努力しても、NBAは厳しいかなって思うわけだよな。

っていう風に、実際のところ、人生には
「原因を埋めれない事」
ってあるわけですよ。

例えば、じゃあ僕がファッションモデルになれるのかという話だと、おそらくなれないと思うんだよな。

骨格、身長の高さ、とか色々な要因でね。

そういった原因を埋めれないとやっぱり難しいわけだよな。

そういう埋められない要素も現実的にあるんですけど、

**「基本的には、埋めれる部分っていうのを
全部埋めていけば、絶対に出来る」**

と考えてください。

この時に大事ななのは

**「表面のテクニックだけを見て、
真似をしても大きな成長もないし、
成果も出ない」**

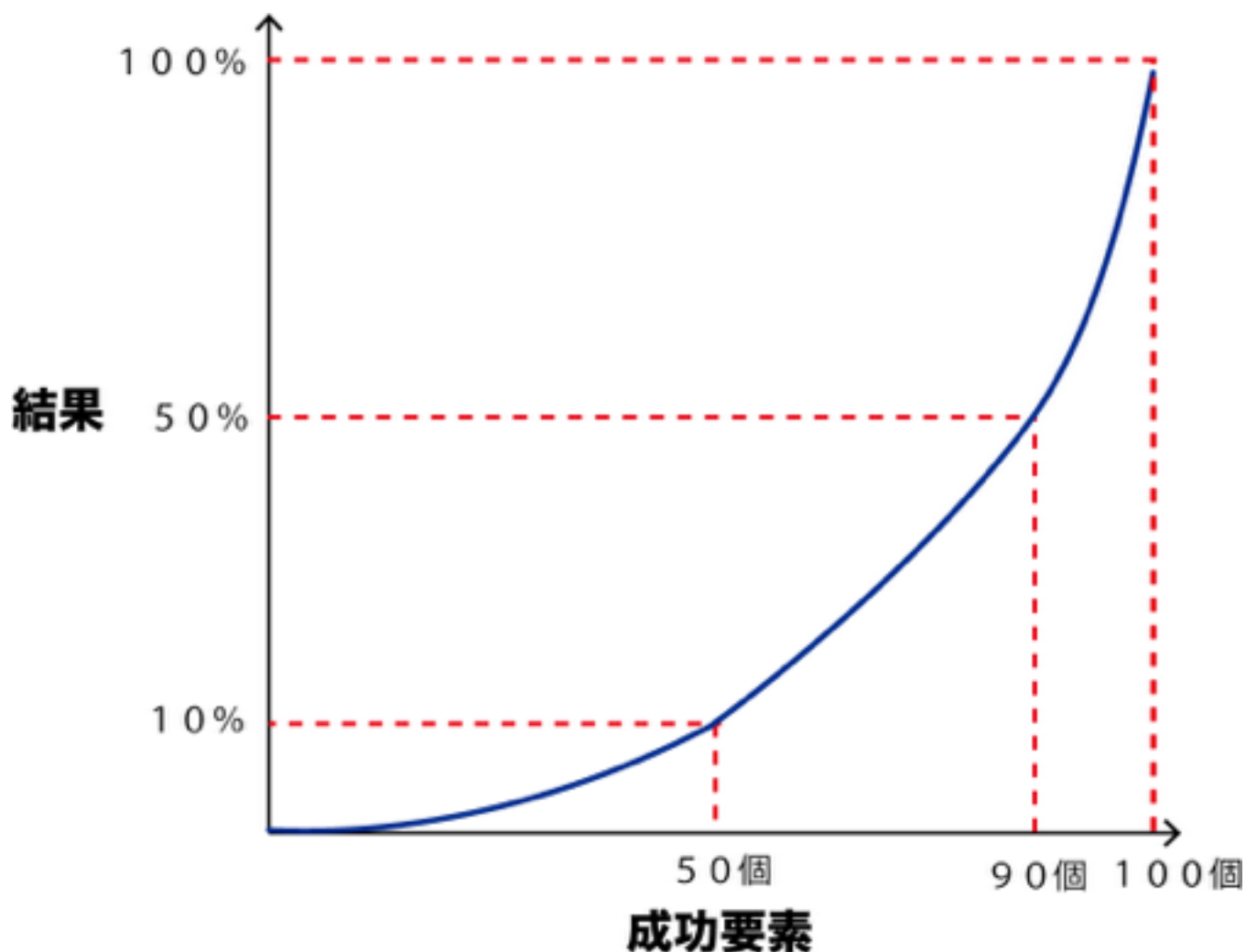
例えば、トークフレーズだけ、ファッションだけ、
振る舞いだけ、とかね。

小さい成果くらいは出るかもしれないけど、
基本的には、大きい変化はない。

ちゃんと出来てる人を見て、
思考、考え方、行動パターン、戦略、
などの深い要素も真似していく。

成功している人を見て、
「出来ている要素を全部埋めていく」
って必要があるわけ。

※例えば、100個の成功要素があったとして
1個を埋めただけじゃ成果は出ません。
30～50個と埋めてきたら10%の成果が出て、
90個埋めたら50%の成果が出て、
100個埋めて100%の成果というイメージ



※「学んでいる先生と同じ結果」が欲しいなら
100個の要素があるとしたら100個の要素を
身につけないと、同じだけの結果は出ません。
⇒可愛い彼女やセックスパートナーが欲しいだけ
なら10%の成果が出れば十分だと思います。

成功している人をしっかりと見て、
観察して、分析して、成功要素を取り入れていく。

出来てない人ばかり見て
「俺はマシだ！」 「俺はあいつらよりイケてる」
と安心しないってことですね。

カメさんは
自分よりも出来てない人を見て、
「あれ、俺まだ大丈夫じゃね？」
とか思うの大好きだもんな(笑)

自分よりも「下」ばかり見ててちゃダメ、
自分よりも「上」を見ないとね。

カメ「そうですね」

ちゃんと観察分析していく。

あと、

僕「出来ていない人」「失敗ばかりしている人」もよく見て、分析するんです。

出来ない人にも「失敗する理由、原因」といった負のパターンがあるんですよ。

「成功している人の要素パターンを取り入れて、失敗ばかりしている人のパターンをやらない」

これを続けていけば、少しずつだけど変わって成長していくに決まってんじゃない。

ってだけの話。本当これだけなんだよね。

自分の普段のパターンを変える時に、色んな不安とか恐怖とか、色んな感情が変化を取り入れるのを邪魔してくる。

上手くいってる人と

**同じように考えて、
同じように行動して、
同じように生きたら、**

必ず成果は出るんですよ。

その時に、以前も言いましたけど、成功者の「成功している今の状態」じゃなくて「ゼロから歩んできた方法」を順番通りにやっていくことが大事。

「赤ちゃんが生まれてすぐに100キロのダンベル持つ？」

「フンッ！」って言って。

範馬勇次郎なら持ちそうだけど(笑)

カメ「持たないです」

落ち込む人って、筋トレを始めたばかりの
赤ちゃんみたいな状態なのに

「俺、100キロのバーベルも持てない。
才能ないから死んだ方が良くかも…」

って言って落ち込みんでいる感じさ。

ハイハイから始める必要がある。

赤ちゃんは、走る、歩くよりも、
ハイハイから始めるでしょ？

最初はゆっくりハイハイをして、
ハイハイにも慣れたらハイハイも早くなって、
二足で立つことを覚えていく。

徐々に徐々に、覚えていくよね。

運動発達の種類 (Shirley, 1961)



《運動発達の順序》

そうやって、運動を覚えて、筋力も高まって、
100kgのダンベルとか持つようになると
思うんだよ。

「ずっと上手くいかない人」 「落ち込んじゃう人」
っていうのは

「ううう…俺、モテないし、貧乏だし、
ダメだ、死んだ方が良い」

って言って嘆いているのは、
生まれたばかりの赤ちゃんなのに
100kgのバーベルを持ってないって
落ち込んでいる状態なんだよね(笑)

「ばぶー、ばぶー、ばぶー」
って落ち込んで泣いているみたいな感じ。

誰もが、

**「0 ⇒ 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ …」
って風に歩んでる訳なんだから
ちゃんと一歩ずつやっっていけばいいだけ。**

僕自身が教えているノウハウってのも

「ちゃんと一歩ずつやっっていけば
出来るように話してる構成」

になっているわけなんだから。

一歩ずつやっていけばいいだけなんです。

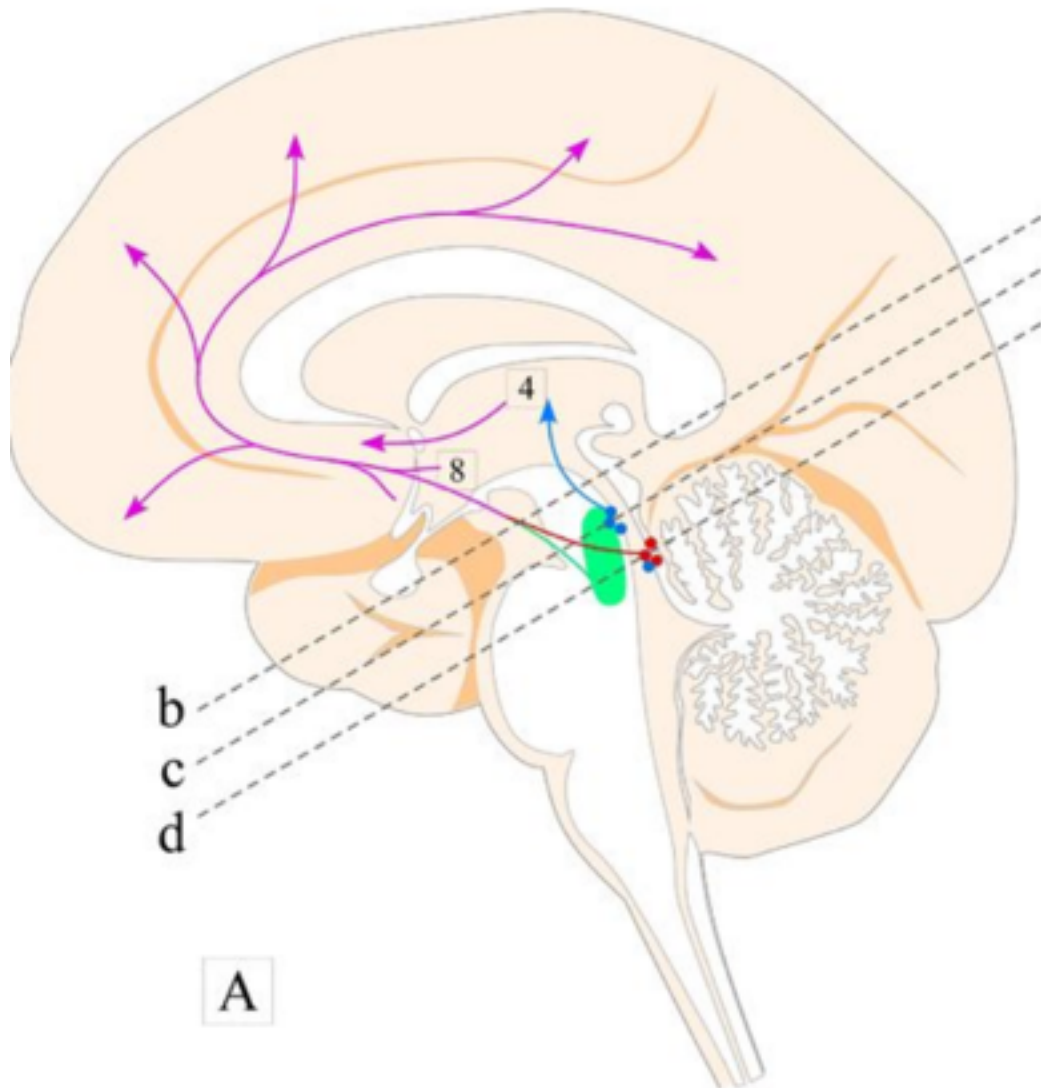
**同じだけ練習して、
同じだけ行動して、
同じだけのマインド、
を持っていけばいいってだけ。**

「網様体賦活系（もうようたいふかつけい）」
って機能が脳にあるんですけど。

例えば、脳は睡眠中に
脳が働かないように出来るだけして、
休ませて「老廃物を出す」。

これを「覚醒」させて「ペア！」って
脳が光る感じの「網様体賦活系」
ってというのがあって、

「網様体賦活系」の機能は、要するに
「自分の求めている情報とか
必要な情報に反応する」
ってものなんです。



《網様体賦活系》

※「網様体賦活系」という脳のある場所があるのではなく「網様体」という上記の「緑」の部分を情報が通って「脳を覚醒」させる機能の事。必要な情報があると脳がピカ！と反応する。

例えばカメさん、

「めっちゃ普通のおばさんが歩いている」のと、

「美人なキャバ嬢みたいなルックスで
Tシャツ着てて、おっぱいが揺れて
バインバイン揺れている」

のだったら、どっちを見ます？

カメ「キャバ嬢を見ます。」

見るっしょ？やりてえなって。

カメ「やりてえな！って思います」



引用 : <https://www.mgstage.com/>

この行動ってのは「セックスしたい」という「繁殖本能」から情報認識して、見ちゃうわけだよね。

「自分に必要な情報」を本能的に、無意識に見ちゃう。

例えば、理論的なものの例えだと、「モテない時期」で悩んでいれば「モテる情報」に脳が反応する。

当時の女性にモテない時期の僕自身も

「モテる情報」「セックスできる情報」に
反応していたけど、今反応するかといえば
興味ないから無視だよね。

昔だったら、モテる系の広告とか情報見ても

「本当にモテるのかな？」

「本当に彼女出来るの？」

「本当にやりまくれるの？」

って思ってネットや書籍の情報を追って、
真剣な気持ちで見っていた。

花粉症の人であれば

「花粉症を和らげる方法」の情報があれば、
見てしまうよね。

逆に、花粉症じゃない人は興味ないよね。

ニキビが顔に出て、ニキビ跡で悩んでる人なら
「ニキビの薬の広告」を見たら
「ハッ！」って無意識に反応する。

これが「毛様体賦活系」が
脳内でしている行動なんだよね。

求める成果を出してる師匠とか先生と

**「同じように考える」
「同じ行動をし続ける」**

**ことを続けていくと、
脳のカタチや機能がドンドン変わってくるわけさ。**

「価値観」が変わり、
「行動や習慣」が変わり、
「人格」が変わると
「世界の見え方」が変わる。

行動を通して、何かのスキルを身につけると
「脳のカタチ」が変わってくる訳だよ。

この脳が変化する機能を
「**可塑性（かそせい）**」と呼ぶんだけど、
脳は粘土みたいに柔軟なんだよね。

【脳かそせいの性質① 可塑性】

外部からの刺激に柔軟に対応する性質のこと。速読ト
レーニングにおける外部からの刺激は「スピード」。

可塑性の例

一般道路

いつもの景色



高速道路

景色が速く流れる



一般道路

景色がゆっくりに見える



例えば、カメさんは、
トークフレーズとかテクニックが好きじゃん。

カメ「はい」

トークフレーズとかテクニックを求めている人は、
早く結果出したいという本能からくるもの。

女性を口説くことを実践して、
やればやるほどにわかると思うんだけど、
現実的にそれだけじゃ上手くいかないんですよ。

「エッチしたい」

「ナンパで即日セックスしたい」

とかであれば、カメさんは簡単なテクニック
しか使えないけど。

教えたことを、
全然身につけることができないけど

教えたテクニックだけはやるじゃん。

カメ「はい」

それでも一応セックスまでは出来るんだよね。

でも、

人に尊敬されたり、
本当の意味で女性に愛されたり、
仕事ができる男になる、

といったことを求めるのであれば、
本当の意味で自分を変えていかなきゃいけない。

「人格」を魅力的に変えていかなきゃいけない。

そのためには
まず「価値観」を変えなきゃいけない。

「他人にモテるには人格が大事」

「人から評価される」

とか、そういうのが生きていく上で大事なんだから、
そういう価値観を持つ。

その価値観に基づいた行動をする。

その価値観に基づいた行動をすると
みんなから少しずつ評価されたり、
結果が出てくる。

自信もついて、人格が変わってくる。

そうすると。世界が変わるわけだよ。

あなた自身が目で見て、耳で聞いて、
脳が認識するもの次第で
「世界の見え方」が変わる。

今は「俺はダメだ…」というセルフイメージで
行動も消極的で、

上司とか先輩に教わったり、
自分の直すべきことの改善点を指摘されても

「エへへ、どうせ俺には出来ねえよ」

と最初から諦めて、自分を変えようとしない。

その結果、どんどんショボイ人格になってくる。

周りには、自分と同じようなショボイ奴しか
集まってこない。

自分がショボい負け犬的な人格だから、
ショボい世界が出来上がっちゃう。

よく「思考は現実化する」って
言ったりするけど、実際に現実化するんだよ。

思考次第で「世界の見え方」が変わるからね。

現実世界で、自分自身の行動が変わってくると、人からの評価が変わってくる。

基本的に僕らは「人間社会の中で生きている」わけなんだから、他人の評価は大事だよね。

思考パターンが変わると

「見える世界」が変わるから、現実が変わってくるわけだよ。

フレーズとかも、成果を出すためには全部大事だし、

自分を変えるちょっとした変化になるかもしれないけど、

「1⇒1.1」くらいにしか変わらない。

価値観が変わったら

「1⇒100」とか「1⇒1000」
に変わっていくんだよ。

どっちの方がコスパが良いかって
言ったら、後者ってことだよね。

この時に例えば、

「才能がないと上手くいかないんじゃないか」
と考えたりすると思うんですけど、

「才能の向き不向き」は絶対にある。

例えば、僕自身のケースだと、

「女にモテる、モテない」ってことだと、
身長、顔、年齢、性格、とか色々な要素がある
と思うんですよ。

僕もホスト始めたときに、

「モテる才能はあるわけじゃないんだな」
ってすごく実感しました。

例えば、ナンパやってて、可愛い女の子と
たくさん出会えたり、セックスしたり、
彼女にできて

「俺ホストでもいけんじゃね？」

って最初はちょっとは思ってた。

本当にモテる人って全然レベルが違うんですよ。

まずは「顔」「イケメン度合い」が全然違う。

マジで顔が良いだけで、ホストって
「何百万円/月」って稼げるんだよね。

本当に。

「顔がイケメン」ってだけで
お客さんがついて何十万円、何百万円って

大金を使うからね。

「高身長でモデルみたいにスタイルがいい」
とかも才能だね。

「ルックス良い男の子たち」は
俺みたいなのとは全然違う世界に
いるんだって体感したね。

イケメンたちと同じ戦略じゃ、
全く勝てないな、と思った。

だから「別の戦略」で戦うようにしたんだけど。

現実問題、実際に恋愛面においても
「才能」って絶対ある。

でも言いたいのは、例えば
10やって10の成果しか出せない人もいれば
10やって100の成果を出せる人もいると思う。

才能次第ではね。

でもさ、じゃあ、

上手くってる人が100としよう。

100の行動した時に
才能ある人は1000の成果を出せる。

普通の人には100とか出せるかもしれない。

才能がない人であっても
少なくとも10くらいは出せると思うんだよね。

例えば、恋愛面であれば、芸能人だと
元AAAのニッシーみたいなに、
みんなにキャーキャー言われる必要は
無い訳だよね。

ジャスティンビーバーになる必要も
無いわけじゃん。



《Nissy(西島隆弘)》



《ジャスティン・ビーバー》

美人な女の子と何人かとエッチできる仲間
なったり、彼女に出来たらそれでいいじゃん。
それであれば、絶対いけるんだよね。

同じだけの行動、
同じだけの美意識、
そういう風にやっていけばね。

例えば、
年収100億円になるのはわからないけど、

孫正義と同じくらい行動して、
同じくらい勉強して、
同じだけのアクション起こしてたら、
年収1億円くらいにはなれそうな気がしない？

なれるよね？普通にね。

資産何兆円は無理かもしれないけど、
資産1億円とか5億円、10億円レベルなら

いけそうじゃん。

いけるんだよ、実際。

5歳くらいからイチローと同じだけ
野球の練習してたら、どう？

甲子園くらいはイケそうじゃない？

プロで首位打者とったり、
日本記録を作るのは無理かも知れないけど、
甲子園くらいならイケそうじゃん。

少なくとも、普通のそこら辺の地方高校で
やってると、4番でエースにはなれそうじゃん。

っていうだけの話。

成功している人と、
同じように考えて、

同じように行動してけば、
出来るんだよ。

**だから「出来る原因」「上手くいく原因」
を見つけて、学んで、身につけていく。**

逆に、

**「出来ない人の理由・原因」を見つけて、
絶対にやらないようにする。**

これだけで良いわけだよ。

「出来ると確信する」っていうのは、
「出来る理由・原因を把握している」
だけなんだよね。

「出来る理由・原因」を理解するために
教材、セミナー、本、直接指導、などで
学んでいるんだよね。

「成功している人」と「ダメダメな人」
の両方を見て、

**「成功している人と同じことをやって、
ダメダメな人と同じことをやらなきゃいいんだ」**

っていう風に考えて、実践しているだけ。

こういう風に考えて、
僕自身もそうだし、
上手くいってる人ってのはやってるんだよ。

成功している人のパターンを見ていたらね。

今回の話が出来てないな、
成功できるか不安だな、

って言う人は、この考え方を
取り入れて欲しいなと思います。

それでは今日も一日楽しんでいきましょう！

ジゴロパンダ